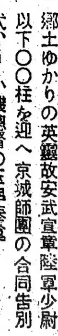


[illegible]



新祭神の遺族二名づつが参列

來月十八日 京城を出發

大東亞戰下、その
武勳一しは確く新
祭神一萬九千九百
八十七柱の英雄を

[illegible]

活を致
うと、
祖に留
ことを
二月の
底事頂

る(組内は現時間)
 禮賛、喜樂、一五六
 三、六四四、一五六
 阿彌陀佛、一三六
 阿彌陀佛、一三六
 富麗通達、時略、五九
 七〇、七〇、七〇、七
 五、報謝(ユスを敬
 問、三、三、三、三、三、

四作家を大陸へ派遣

【東京通信】大東亞戦争勃発とともに一億國民の關心は南方諸地域の開發建設に向けられて來たが、

忠魂・今ぞ故山に無言の語らひ

下訓讀所定の點に就いて修
設談の條あり、僧人秦榮
の裡に海山の幸にあひ、釋
主武卿をたへる尊爵と爲
の由にて主君が寵に當
へ賜はれ、主君の御前にて瑞
々瑤花を留り、明皇國恩
を頌ふ。臨山出、御歌誦宣
し、詠めてあるなり。
高祖聖旨に事候露あつ
て、龍王取手奉願、原者代
理、障り有け、靈前に居れば像
を、懸下高祖御律をして

忠魂・今そ故山に無言の語らひ

おゝ、
新して傳授部郎長、御岩
小鏡姫宮、軍司官(大)領
實茂少將、及び諸臣三長
官、廣海府府司長官、
羽杉本武吉、李王、難繼官
つかしの神人へ曉づた

なほ是、
十一年京師歸、日午後二時で
當時の離別、抱かそれとな

四月の實踐
四事項決る

[illegible]

或鮮之

主とは老
切車列の鐘

[illegible][illegible][illegible]